

校外学習の感想

前号でお知らせしましたとおり、11月25日（水）、2年生の校外学習を実施しました。今回は、代表生徒の感想を紹介します。

第2学年1組 清水 萌花さん

私は校外学習で東日本大震災について学ぶことができました。辛く悲しいことで、実際に自分が体験したらと考えると怖いけど、それをたくさんの人の助けと自分たちの強い意志で頑張り続けてきたことがとてもすごいなと思いました。

また、私は学級の5か条を意識しながら楽しく一日を過ごすことができました。友達の新たな一面を知ったり、迷いながらも久しぶりの水族館を楽しんだりすることができました。学んだこと、楽しかったことはとても良い思い出です。

第2学年3組 三川 旺右さん

ぼくが校外学習で学んだことは、協力し合い、諦めずに挑戦することが大切だということです。アクアマリン福島では、東日本大震災の津波で水族館にいる90%の魚が死んでしまったそうです。そんな中でも、アクアマリン福島の職員の方々や、他の水族館からのボランティアの方々の協力で、4カ月という短い期間で再オープンできたので、ぼくも諦めずに協力し合いながら何事にも挑戦していきたいです。



いわき市で発掘された「フタバズキリュウ」の化石模型の前で



アンモナイトのクリーニング



クリーニング後のアンモナイト



アクアマリン福島での防災学習

薬物乱用防止教室

11月26日（木）～27日（金）、3年生全学級を対象に「薬物乱用防止教室」を行いました。

近年、薬物犯罪が相次いで発生しており、薬物乱用に対する規範意識の低下や薬物乱用の危険性及び有害性についての認識不足が社会問題となっています。このような現状をふま

まえ、生徒に薬物乱用の危険性及び有害性を啓発し、薬物乱用の根絶と乱用を拒絶する規範意識の向上を図るために毎年実施しています。令和2年度は、3人の薬剤師の方々を講師として実施しました。生徒の感想を紹介します。

第3学年3組 前野 志帆さん

薬物乱用防止教室では、講師の方々から多くのお話を聞きました。その中で、私が特に印象に残っていることは、覚醒剤の再犯率の高さです。そして覚醒剤を何度も使っている人が後悔しているということに驚きました。後悔してもやめることができないというのは、とても恐ろしいと思いました。薬物は人の心も身も蝕んでしまうものなので、周りの人に使っている人がいたら止める勇気、誘われたらはっきりと断る強さをもつべきだと改めて感じました。

